

第2章 安曇野市の上位・関連計画の概要

第1節 上位・関連計画の概要

1. 第1次安曇野市総合計画

(1) 第1次安曇野市総合計画の構成

総合計画は、市の目指すべき将来像とまちづくりの方向性を示す「基本構想」、将来像を実現するために必要な諸施策を定める「基本計画」、基本計画で定められた諸施策を具体的な事業としてとりまとめる「実施計画」の3つの計画からなります。

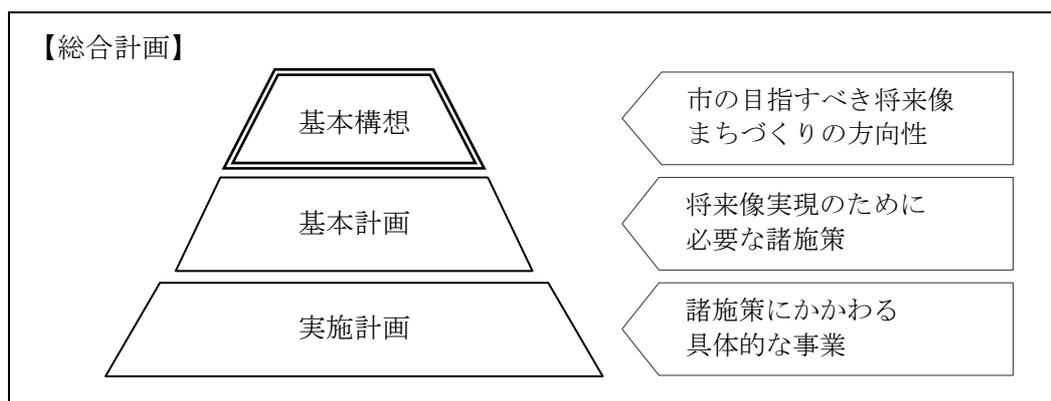


図. 計画の構成

(2) 第1次安曇野市総合計画の基本理念

市民憲章は、まちづくりの方向を明らかにし、市民一人ひとりが主体的にかかわるための「道しるべ」となるものです。

そのため、市民憲章をまちづくりの基本理念と位置付けます。

安曇野市民憲章

安曇野市は、北アルプスの麓（ふもと）に広がり、美しい自然や豊かな歴史・文化に恵まれたまちです。

わたしたちは、ここに生きる幸せと誇りをもって、お互いに尊重し合い、より住みよいまちをつくるために、この憲章を定めます。

- 自然を愛し、水と緑豊かなまちをつくります
- 学ぶ心を育て、文化のかおるまちをつくります
- 思いやりを大切に、健康であたたかいまちをつくります
- 働くことを喜び、活力のあるまちをつくります
- 支えあいの輪を広げ、安全で安心なまちをつくります

(3) 目標年次

第1次安曇野市総合計画は、平成29年度を目標年度とし、平成20年度から平成29年度までの10年間を計画期間とします。

(4) 将来都市像

北アルプスに育まれ ころろ輝く 田園都市 安曇野

平成17年10月1日に合併により誕生した安曇野市は、県人口が減少へと転ずる中、県内でも屈指の人口増加地域であり、将来の発展に可能性を秘めた地域です。

本市は、北アルプスの麓に広がる複合扇状地にあって、多くの歴史的用水により、県内有数の米どころとして発展してきました。

また、田園風景に囲まれた豊かな自然環境と、良好な生活環境を併せ持つ地域でもあります。

このような中にあって、良好な自然環境を維持しつつ、人と環境に配慮しながら、市民が活力と喜びを実感し、将来へ希望もてる個性豊かなまちづくりを進めることが大切です。

このため、市民と行政が協働・連携を深めながら、恵まれた自然環境の保全と産業機能や生活機能がバランスよく配置された魅力的な都市環境の創造に努め、市民一人ひとりが輝きながら、成長・発展する地域を目指します。

(5) 第1次安曇野市総合計画の将来都市像の実現と体系

第1次安曇野市総合計画は、将来都市像の実現に向けた基本方針と基本方針に沿った主要施策を設定し、次のとおりに示しています。

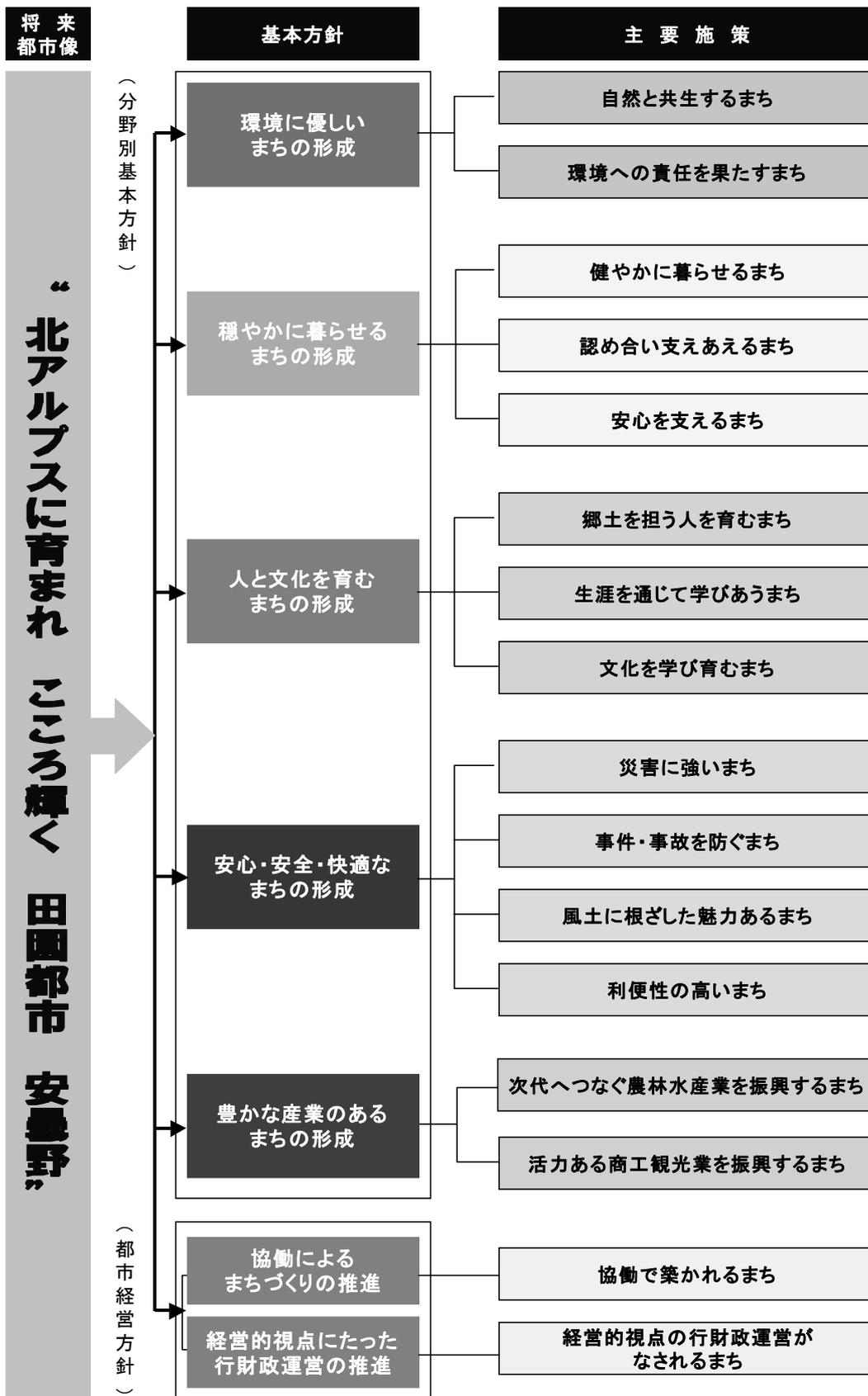


図. 将来都市像実現の体系

(6) 第1次安曇野市総合計画の将来都市像の実現の具体策

「安心・安全・快適なまちの形成」に基づいた主要施策の「利便性の高いまち」について次のとおり示しています。

「利便性の高いまち」を実現する施策

- ① 道路の整備
- ② 公共交通の整備

第2節 本計画の位置付け

1. 公共交通施策における上計画との関連性

本計画は、第1次安曇野市総合計画の主要施策にある「利便性の高いまち」に基づき、実現に向けた施策に掲げられた「公共交通の整備」を具体的に目指すための計画として実行します。

尚、本計画立案に際し、市では既に平成18年度から国土交通省の支援事業である「公共交通活性化プログラム事業」にて国土交通省と連携のもと、「長野県安曇野地域における公共交通システム構築のための検討会」、「安曇野市地域公共交通会議」、「安曇野市地域公共交通協議会」を設置し、地域公共交通の充実に向けた取り組みを行ってきました。

「公共交通の整備」総合計画における施策

【基本方針】

市民が市内及び都市間を気軽に移動でき、商店街の振興・コミュニティーの活性化や交通弱者の社会性を増進させる交通環境の整備を目指します。

1 公共交通体系の充実

「デマンド交通システム」などの運行を充実し、障害者にも優しく、利便性の高い生活交通ネットワークの形成を図ります。

また、観光客などが利用しやすい交通体系の整備に努めるとともに、パークアンドライドの整備などにより、JRや高速バスなどの利用しやすい環境整備に努めます。

2 公共交通の利用促進

JR篠ノ井線・大糸線及び高速バス並びに信州まつもと空港は、市民の交通手段として、サービスの向上が図られるよう、機能の充実を関係機関に要請し、利用促進を図ります。

また、駐車場の確保や駅周辺の整備を進め、利便性の向上を図ります。

3 脱石油型の交通システムの活用

自然エネルギー、バイオマスエネルギーを活用した交通手段について検討し、BDF事業などを推進します。

2. 本計画の上位計画への相乗効果の想定

本計画は、総合計画の基本方針「安心・安全・快適なまちの形成」に基づく「公共交通機関の充実」の施策を具体的に目指すために策定するものですが、公共交通機関は、通勤や通学など日常生活の移動手段として、また地域間の交流・連携の根幹として重要な役割を支えます。

加えて、高齢化社会の進展、環境保護の観点などから、公共交通から波及する効果は大きくなっており、本計画の過程において、関連される事項についても、可能な限り想定と検討を行い、本計画の実行により、最大限にその相乗効果を発揮できるよう考慮することにします。

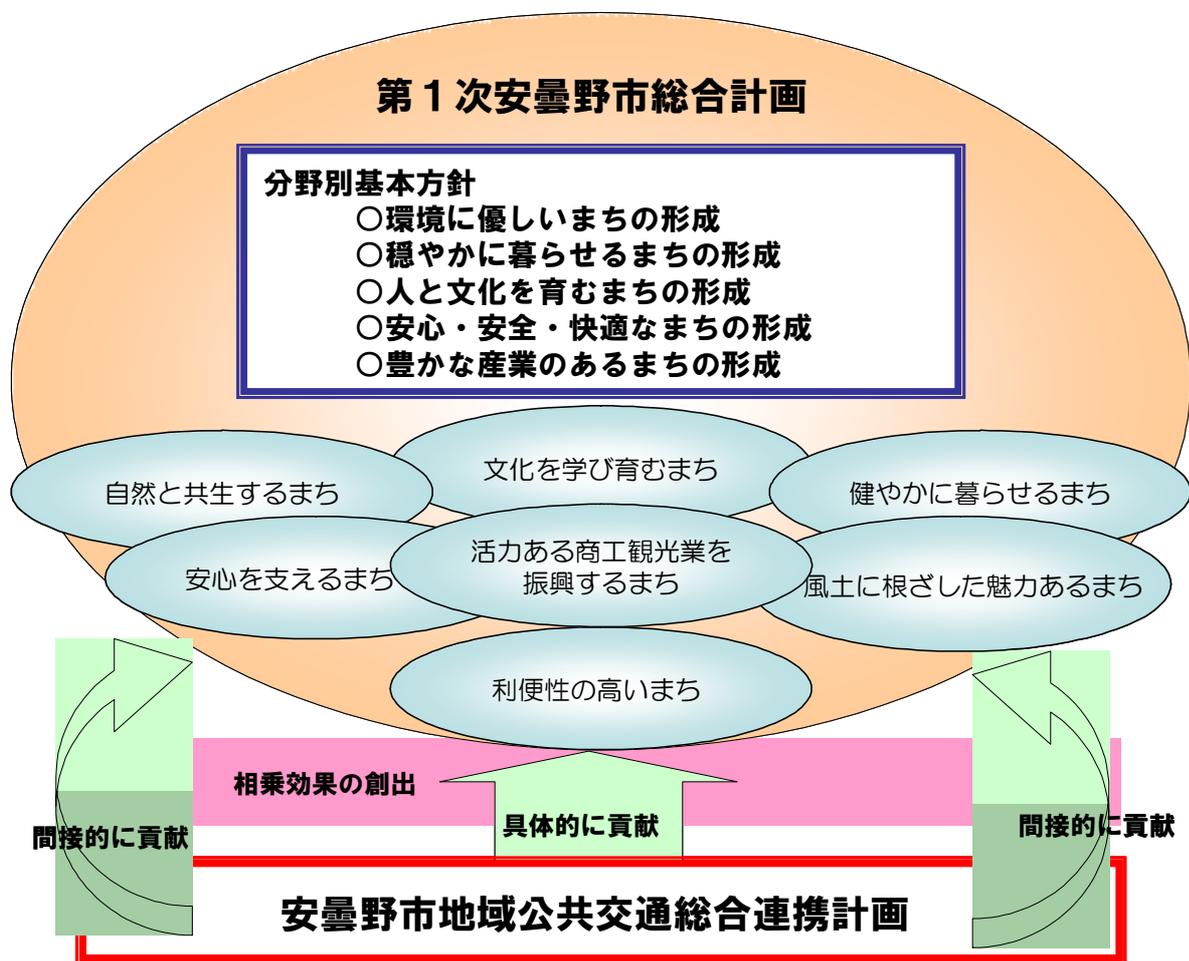


図. 安曇野市地域公共交通総合連携計画の上位計画との関連性、相乗効果のイメージ